

わ はな だよ

和の華便り

平成27年 新年号 VOL. 25

☆各校区の状況☆

(平成26年12月1日付市統計より)

	託麻西	月出	西原
人口	16032人 (+67)	10276人 (-20)	14495人 (-90)
高齢者数	3238人 (+73)	1692人 (+27)	3079人 (+22)
高齢化率	20.2% (+0.4)	16.5% (+0.3)	21.2% (+0.2)

※高齢者数は65才以上の方の人数です。

※高齢化率=高齢者数÷人口×100

※十一は前号との比較です。

～ こんにちは、ささえりあ保田窪 です ～

熊本市高齢者支援センターささえりあ保田窪では、地域の皆さまと共に、安心して生活できる暮らしやすい環境づくりに取り組んでいます。

あけましておめでとうございます

今年も、託麻西、月出、西原校区の皆様のご協力のもと、職員一同、より一層頑張ってみります。



2月3日は「節分」

節分は、四季の分かれ目に行われていた各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことで、立春前日の節分のみが現在も年中行事として残っています。

節分といえば、豆まき。

その豆は「穀物には生命力と魔除けの呪力が備わっている」という信仰、または語呂合わせで「魔目(豆・まめ)」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅」に通じ、鬼に豆をぶつけることにより、邪気を追い払い一年の無病息災を願う厄払いの行事です。

また、節分といえば、恵方巻き！節分の夜に恵方(今年は西南西)に向かって無言で願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじりします。恵方の具材は、七福神に因んで、かんぴょう・きゅうり・椎茸・伊達巻・うなぎ・でんぶ、その他の七種類を入れるのがよいそうです。



今年もよろしくお願いたします！



左から、江崎相談員、緒方センター長、山田相談員、武田相談員、田村保健師、仁田原社会福祉士、平田主任ケアマネジャー、松尾社会福祉士

西原校区 認知症徘徊者捜索・声かけ模擬訓練 を開催しました！

平成26年11月30日(日)9:00～ 西原小学校周辺

西原校区社協主催で西原小学校周辺を実施エリアとした認知症徘徊者捜索・声かけ模擬訓練を実施しました。参加者・スタッフ合わせて約200名が西原小学校体育館に集合し、東区役所所長挨拶、熊本市認知症地域支援推進員による認知症の講話、寸劇のあと、グループに分かれエリアに出発しました。「参加してよかった」「訓練とわかっていても勉強になった」等の声がきかれ、今後の地域での支援体制づくりに皆さんの意識も少し高まったようです。途中から雨が降り出した為に、訓練時間を短縮することとなり、声かけできなかった人、濡れてしまった人がでてしまい残念でした。アンケートでは、再度の開催を希望されるなど好評評価で、スタッフの苦勞が報われました。



訓練終了後の集合写真。皆さん、自分を見つけることができるでしょうか？



区長挨拶、認知症地域支援推進員の講話、寸劇で気づいたことの発表。



声かけの悪い例、良い例。熱演に拍手が沸き起こる!!



寸劇を参考に前からゆっくりと声かけしています。



オレンジベストが徘徊者役の目印でした。



徘徊者役の熱演に呼応して、声かけた人も真剣に取り組みました。

熊本市高齢者支援センター ささえりあ保田窪

住所 熊本市東区保田窪本町10-114
グランフィーネ保田窪1F(保田窪2丁目バス停前)

電話 096-387-8201

